

全木連時報

1月25日(日曜日)
(第610号)(毎月25日発行)
平成21年(2009年)

発行所
社団法人 全国木材組合連合会
編集人 尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



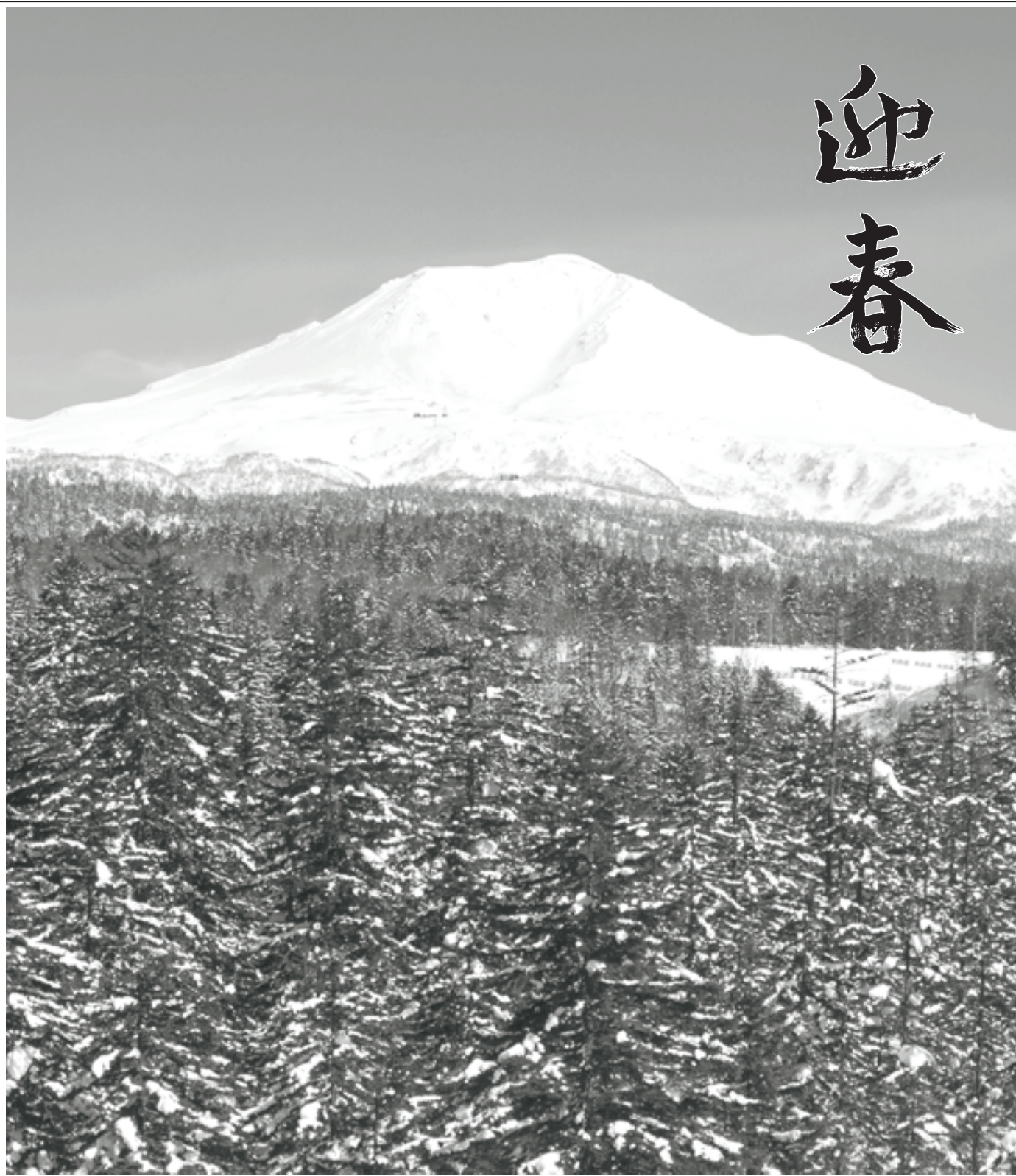
木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。

迎春



年頭のご挨拶

社団法人全国木材組合連合会

会長 並木 瑛 夫



あけましておめでとうございませす。皆様方には、本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年来のわが国の経済は、世界的な金融危機などの影響を受けて景気後退が加速するなど深刻度が増してきています。木材需要の大宗を占める住宅の着工戸数につきましては、一昨年の改正建築基準法等の影響は薄まってきたも

全国木材協同組合連合会

会長 吉 条 良 明

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年が皆様にとつて、よい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

の、景気後退の影響による住宅投資意欲の減退が大変に心配されています。このような中で、昨年の木材業界は依然として厳しい状況が続いた一年でありました。

①木造住宅等の着工増対策、②林業・木材産業のセーフティネット対策等の実現を採択し、政府・与党等に強力に働きかけを実施してきたところであります。「緊急総合対策」は既に実施に移されていますが、昨年十月末には政府・与党等会議で「生活対策」が決定されて、これに対応した追加経済対策が打ち出されました。この「生活対策」には、木材業界が

要望している中小企業対策、住宅の着工増対策、セーフティネット対策などが盛り込まれており、二十一年度政府予算案に計上されている木材産業総合対策なども含め、その早期実現・実施を強く期待するものであります。このような国等の諸対策の実施や我々業界の限りない各種取組努力を通じて木材業界の景況回復が図られることを強く念願する次第であります。

とところで、我々業界の展望を切り拓いていくには「新たな木材利用への挑戦」と「消費者・需要者重視の木材供給・加工体制の整備」が必要であります。木材利用に関しては、これまでも人々の生活・住空間に木の良さをもっと活かしていたり「木づかい運動」を始め様々な取組みに努力しているところであります。そうした中で、昨年の秋の国会で成立した長期優良住宅関連法では、国の基本方針で国産材その他の木材を利用した長期優良住宅の普及が図られるよう配慮する、といったことが明確文化されるなど我々木材業界にとって大変に意義深い動き、制度創設が進められています。また、カ

「消費者・需要者重視の木材供給・加工体制の整備」につきましては、品質性能、木材産地などを明確にした製品、合法性の証明された木材製品、中でもJAS製品、乾燥材を安定的にしっかりと供給をしていく体制をきちんと整えていくことが重要であります。また、北洋材等木材輸入環境の変化や消費者の国産材志向の高まりを踏まえて関係者の連携も含めてその対応も課題となっております。

違法伐採に対する取組みは、この三年間で認定団体、認定事業者等々の整備が進み、これからは新たな段階の取組み、すなわちマ

規模での景気後退が強まっております。日本経済におきましても、世界経済の減速に伴い景気後退局面に入っており、今後、下降局面が長期化・深刻化することが懸念されております。このような中にあって、木材産業におきましては、

ケットにおいても合法木材の一層の理解促進と実需拡大、信頼性のある合法木材供給体制整備の着実な進化に向けて一層努力して参る考えであります。また、全木連のJAS関係業務は、この三月からは既に発足している「有限責任中間法人全国木材検査・研究協会」に全面的に移行することになってい

ます。検査事業に長い間ご協力・ご理解をいただきました事業者、関係機関の皆様方には感謝とお礼を申し上げますとともに、円滑な移行ができるよう全木連としても最大の努力をしたいと思います。

また、JAS製品供給体制整備については、木材業界にとって重要であると考えており、今後とも、その促進についての取組みを進めて参る考えであります。

厳しい中ではありますが、本年も木材業界の未来を切り開くための諸対策の推進に努力したいと考えておりますので、どうぞ引き続き皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

終わりに今年皆様方にとって良い一年となりますようご祈念申し上げますご挨拶いたします。

改正建築基準法施行等に伴う新設住宅着工戸数の大幅減少が漸く落ち着きを見せはじめたにもかかわらず、このようなこととなり、木材需要に与える影響を強く懸念しております。

昨年秋以降、政府・与党も景



気後退の事態を重く受け止め、中小企業対策や農林漁業・生活者対策などの平成二十年度補正予算を措置し、加えて追加経済対策を打ち出しているところであり、全木協連としても、全木連と

一体となって、瑕疵保証制度等への対応、セーフティネット金融・保証等の経営支援対策、追加の経済対策の早期実現及び木材利用や森林吸収源対策を推進するため平成二十一年度木材関係予算・税制対策の実現など各般の対応に取組んだところであり、追加経済対策の早期実現等を強く念願しているところであります。

我々業界としても、木材利用拡大に向けた不断の挑戦と消費者・需要者の視点に立った対策に必死の思いで取組んでいくことが重要と考えています。「低炭素化社会」の実現が社会全体の重要な課題となつていますが、木材はそれに大

きく貢献する資材であり、そのことに関連して①木材の利用効果の具体的表示につながる「見える化」、②森林・林業セクターと企業との協働が新たなビジネスとなるカーボンオフセット・国内排出量取引、③木材利用に係るカーボンストック減税の検討、④木質バイオマスビジネスなど、新たな動き・取組みが進められています。これらは木材の利用拡大活動の展開に意義深いものであると考えます。需要者・消費者ニーズに応じて品質・性能が確かな木材をきちんと供給できる体制の構築とともに、新たな木材利用の真正面からの取組みを業界挙げて進めていくことが重

要であると考えます。さて、当会の事業につきまして、共済事業・共同事業を組合員、関係者のご理解を得て実施しているところです。グループ共済保険につきましては加入目標を掲げて取り組んでいるところですが、依然として契約件数が減少している状況です。福利厚生に資する共済事業の趣旨を改めてご理解頂き、ご協力を頂きたいと思っております。また、組合員の事業展開のご支援の一助として、国の補助を受けて、木材加工施設の導入に当たつての利子助成事業やリース事業、素材生産事業に使用する高性能林業機械のリース事業、バイオマス事業

の取組み推進を図る事業などを実施しています。厳しい状況の中ですが、加工施設等の設備投資を進める際には、利子助成事業、リース事業の有効活用をお願いする次第であります。本会としても新年を機に、さらに気を引き締めて、木材業界の発展と組合員の皆様の繁栄を目指して努力をして参る所存であります。終わりになりますが、本年も会員の皆様はじめ関係各位のご理解ある一層のご指導、ご協力を切にお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

労災保険料率を引き下げ

概ね15億円の負担軽減

木材・木製品製造業の労災保険料率が、四月一日より引き下げられる予定。

厚生労働省が審議会の答申を受け、改定作業を進めている。

保険料率は三年に一度、見直しが行われ、木材・木製品製造業については、平成十八年の引き下げに次いで連続での引き下げとなる。この間のゼロ災推進活動の結果が

認められたものである。従って、今回の改定時に向けてさらなるゼロ災推進活動が重要となる。

今回の改訂では、現行の料率千分の十八が三ポイント下がり、千分の十五となる。これを金額で表すと、業界にとつては概ね年間十億円の負担軽減になるものと見られる。厳しい経営環境の続く中、朗報である。

伐採後の木材製品の炭素貯蔵

効果について円卓会議が提言

十一月二十六日に、全木連並木会長も参加し、木材関連の学会・業界の代表者による「伐採木材製品の取り扱い」に関する円卓会議が開催され、別掲(四面に掲載)の提言をとりまとめた。

これは、京都議定書第一約束期間では、森林によって吸収された二酸化炭素は木材伐出と同時に排出されると見なす方式が採られているので、伐採木材製品における炭素貯蔵効果が評価されていなく、

そこで、大気中の二酸化炭素を減らすためには、森林資源の蓄積を増すとともに、伐採された木材の長期使用、木造建築物など木材製品中の炭素蓄積量を増やすことが必要であることなどを国民をはじめ広く関係者に知らせ、伐採木材製品の評価手法を見直すことを訴えたもの。

なお、詳しくは木材学会ホームページ <http://www.jwrs.org/events/HWPsym/> を参照されたい。

09年

与党税制改正大綱

住宅ローン減税・中小企業法人税 軽減盛込む

▼平成二十一年から二十五年までの間に借入れる、住宅ローン借入残高の一〇%を所得税額から十年間控除。一般住宅では最高五百万円(二十一年、二十二年に口を組んだ場合、年五十万円を十年間控除する)。

▼中小法人等の所得のうち年八百万円以下の金額に対する法人税の軽減税率を二年間に限り二十二%から十八%に引き下げる。

景況調査＝全木協

20年12月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数135 回答数95 回収率70%

当月の状況

販売量	増加12% (11)	変わらず33% (32)	減少55% (52)
仕入量	増加12% (11)	変わらず28% (27)	減少60% (57)
販売価格	上昇 0% (0)	変わらず79% (75)	下降21% (20)
仕入価格	上昇 4% (4)	変わらず70% (66)	下降26% (25)

来月の見通し

販売量	増加 6% (6)	変わらず37% (35)	減少57% (54)
仕入量	増加 5% (5)	変わらず36% (34)	減少59% (56)
販売価格	上昇 2% (2)	変わらず73% (69)	下降25% (24)
仕入価格	上昇 4% (4)	変わらず62% (59)	下降34% (32)

3か月後相場予想	強 含 み	保 ち 合 い	弱 含 み
米 材	2% (2)	53% (45)	45% (39)
南 洋 材	4% (3)	71% (57)	25% (20)
北 洋 材	16% (13)	62% (51)	22% (18)
国 産 材	2% (2)	73% (64)	25% (22)
建 材	4% (3)	50% (40)	46% (37)

乾燥材取引の頻度	増 加	変 わ ら ず	減 少
	7% (6)	89% (81)	4% (4)

〔製造部門〕

モニター数149 回答数113 回収率76%

当月の状況

販売量	増加14% (16)	変わらず43% (48)	減少43% (49)
仕入量	増加16% (18)	変わらず52% (59)	減少32% (36)
販売価格	上昇 3% (3)	変わらず78% (89)	下降19% (21)
仕入価格	上昇14% (16)	変わらず66% (74)	下降20% (22)

来月の見通し

販売量	増加 4% (4)	変わらず26% (30)	減少70% (79)
仕入量	増加 6% (7)	変わらず37% (41)	減少57% (64)
販売価格	上昇 1% (1)	変わらず71% (80)	下降28% (31)
仕入価格	上昇 5% (6)	変わらず66% (74)	下降29% (32)

3か月後相場予想	強 含 み	保 ち 合 い	弱 含 み
米 材	6% (3)	52% (28)	42% (22)
南 洋 材	3% (1)	72% (29)	25% (10)
北 洋 材	9% (4)	50% (23)	41% (19)
国 産 材	3% (3)	50% (46)	47% (43)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	84% (16)	16% (3)	0% (0)

提言書

環境・経済・社会的に持続可能な木材利用の推進を目指して

ポスト京都議定書における「伐採木材製品の取り扱い」について

私たちは、気候変動枠組み条約における「伐採木材製品の取り扱い」に関する議論の進展に関心を持ち、円卓会議を開催してきました。その結果、温暖化対策を目的とした木材利用促進という立場から、以下のように考えました。

京都議定書第一約束期間（2008年～2012年）では、森林によって吸収された二酸化炭素は木材伐出と同時に排出されると見なすデフォルト法が採用されており、ここでは、伐採木材製品における炭素貯蔵効果が評価されていません。

大気中の二酸化炭素を減らすためには、健全な森林資源の蓄積を世界的に増やし、伐採された木材の長期使用や材料リサイクルの拡大によって、木造建築物、木質建材、紙など木材関連製品中の炭素蓄積量を増やすことが必要です。また、省エネルギー的な木材製品への代替、木質バイオマスエネルギー利用の適切な推進によって、化石燃料の消費を減らすことも有効です。(中略)

そのため、私たちは、(中略) 現行の勘定方法は見直されるべきであると考えます。(中略)

これらの内容を国民の皆様にお知らせするとともに、気候変動枠組み条約締結国会議の特別作業部会AWG-KPおよび次期枠組み交渉担当者である政府機関に配慮いただくよう提言いたします。

平成20年11月26日

「伐採木材製品の取り扱い」に関する円卓会議
座 長 服 部 順 昭

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

お役に立ちます

林業・木材産業信用保証

私どもは昭和38年創立以来、林業・木材産業を専門に信用保証を行う公的機関です

- (対象業種)
- 造林・育林
- 素材生産
- 木材・木製品製造
- 薪炭生産
- 林業種苗生産
- きのこ生産
- 木材卸売



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)

TEL 03(3294)5581 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com